

施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表（第Ⅰ工区）」

1. 新姫川第六発電所新設工事（第Ⅰ工区）スケジュール

区 分	2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度										
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12
環境影響評価手続	準備書手続				評価書手続 ■準備書 大臣勧告 確定通知 ★準備書届出 ★準備書公告縦覧				▲対象事業着手報告書 △施工状況等報告書				環境保全措置・環境監視												▲対象事業完了報告書										
取水口工事及び導水路工事（上流側）					準備工事				第二沈砂池工事				連絡トンネル工事				導水路工事（上流側）								●新姫川第六発電所運開										

2. 対象事業の実施状況一覧（第Ⅰ工区）

年 度 回 数 報告対象期間	2018年度				2019年度			
	第1回報告 8/21～9月	第2回報告 10月～12月	第3回報告 1月～3月	第4回報告 4月～6月	第5回報告 7月～9月	第6回報告 10月～12月	第7回報告 1月～3月	
実施状況	2018年8月21日より本体工事着工。工事用仮設備の上部作業構台を設置完了。 第二沈砂池工事（既設開渠部拡幅工事）を実施中。	2018年10月16日より10月30日まで断水工事を実施。 沈砂池仮締切、仮水路を設置完了。 第二沈砂池工事（既設開渠部拡幅工事）、連絡トンネル工事（準備工事）を実施中。	第二沈砂池工事（既設開渠部拡幅工事）、連絡トンネル工事を実施中。	連絡トンネル工事6月末完了。第二沈砂池工事（既設開渠部拡幅工事）、導水路坑口上部法面補強工事を実施中。	第二沈砂池工事（既設開渠部拡幅工事）、導水路坑口上部法面掘削および補強工事を実施中。	第二沈砂池川側躯体完成。仮締切切替完了（川側⇒山側）。河川法工作物一部使用承認検査終了。	第二沈砂池山側掘削、山留工、仮水路取壊し、導水路坑口上部法面補強完了。 導水路掘削工事準備実施中。（高圧受電設備、濁水処理設備、排水設備ほか）	
年 度 回 数 報告対象期間	2020年度				2021年度			
	第8回報告 4月～6月	第9回報告 7月～9月	第10回報告 10月～12月	第11回報告 1月～3月	第12回報告 4月～6月	第13回報告 7月～9月	第14回報告 10月～12月	第15回報告 1月～3月
実施状況	導水路1号トンネル掘削工事準備（高圧受電設備、濁水処理設備、排水設備ほか）、坑口付けの後、2020年5月21日から掘削を開始し現在掘削実施中。	導水路1号トンネル掘削を継続して実施中。						

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表（第Ⅰ工区）」

期間：2020年7月1日～2020年9月30日

【水環境】

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
造成等の施工による一時的な影響	水の濁り	濁水処理装置による水の濁りの適正処理	1号トンネル上口施工に伴い、濁水プラントを設置し、トンネル工事の濁水は濁水プラントを経由し、高分子凝集剤とPACにより、濁水ケーキとして分離し、清水を放流している。
		排水水質の管理	1号トンネル上口施工では、濁水処理装置出口における排水の浮遊物質量が、25mg/L以下となるよう濁度計を用いて管理している。
	水素イオン濃度	濁水処理装置による水素イオン濃度の適正処理	1号トンネル上口施工に伴い、濁水プラントを設置し、トンネル工事の濁水は濁水プラントを経由し、液化炭酸ガスにて中和し、PH調整をした後、放流している。
		排水水質の管理	1号トンネル上口施工では、濁水処理装置出口における排水の水素イオン濃度を、6.5以上8.5以下となるよう管理している。
	地下水水質	濁水処理装置による処理	トンネル湧水も濁水プラントにて処理を行っている。
		トンネル排水水質の監視	調査で地下水水質に異常が無いことを確認している。

【大気環境（建設機械の稼働に伴う騒音、振動）】

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
建設機械の稼働	騒音・振動	工事量の平準化	工事計画策定段階において、工事量を平準化し、ピーク時の建設機械稼働台数の低減を図る工程とし、工事を実施中である。
		建設機械の効率的な使用	工事規模に合わせ、建設機械等を適正に配置し、効率的な使用を行っている。
		資機材の工場組立	仮設鋼材等は可能な限り工場組立とし、現地での施工機械使用の低減に努めている。
		低騒音、低振動型建設機械の使用	現在、工事で使用しているバックホウ・発電機等は、低騒音・低振動型である。

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
建設機械の稼働	騒音・振動	夜間工事の抑制	導水路工事や断水工事等を除き、原則として夜間工事を行わないこととしている。
		建設機械の性能維持	建設機械は、常に点検整備された状態を維持している。
		環境保全措置の工事関係者への周知徹底	定例会議等にて、環境保全措置を工事関係者へ周知徹底している。

【動物・生態系】

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
建設機械の稼働、造成等の一時的な影響	生息環境・生育環境の保全	地形改変の最小化 伐採面積の最小化	既設設備を有効活用することにより、地形改変の最小化、伐採面積の最小化を図っている。
		河川維持流量の放流	適正な河川維持流量（1.63m ³ /s）を放流している。
		工事排水の適切な処理	トンネル工事における坑内・場内からの汚濁水は濁水処理装置に送水し適切に処理を行っている。工事区域内の雨水処理についても濁水処理装置を経由して処理を行っている。
		低騒音、低振動型建設機械の使用	現在、工事で使用しているバックホウ・発電機等は、低騒音・低振動型である。
		夜間搬出入の制限	導水路工事や断水工事等を除き、原則として夜間工事を行わないこととしている。
		工事着手前に猛禽類（サシバ）の繁殖行動の有無を調査し、営巣木が現況よりも工事区域に近づき、影響が予測される場合にはコンディショニングを実施する	6月中旬の導水路発破時の調査において、サシバの繁殖行動（餌運び等）が確認されなかったことから、7月中旬に繁殖確認の追加調査を実施した。調査でサシバの幼鳥2羽（巣立ち）を確認し、今年度の調査は終了とした。次回の調査は2021年4月を予定している。
		資機材、仮設建物の早期撤去	工事に使用する資機材、仮設建物は、必要に応じ適時配置し、工事終了後は速やかに撤去する計画としている。
		工事関係車両の走行速度の注意喚起 工事関係者の立ち入り制限・動物保護の指導徹底 環境保全措置の工事関係者への周知徹底	定例会議等にて、環境保全措置を工事関係者へ周知徹底している。

施工状況等報告書添付資料「現況写真(第I工区)」



全景(川側より)



第二沈砂池山側施工状況 (下流側より)

第二沈砂池(山側)施工状況
(上流側より)



←山側

川側→

2020年9月28日撮影

1号トンネル掘削状況
(上流側より)



2020年9月11日撮影